



第9回目 【ペットフードについて】



今回のわかばは、ペットフードについてお話しします。

カリカリ、缶詰め、手作りごはん…ペットフードにはたくさんの種類がありますね。

普段、我が子が食べているごはんに目を向ける機会にしてみてください。



ペットフードの種類



<ドライフード>

- ・水分含量は約 10 パーセント
→カビが生えないよう水分は少なめです
- ・品質が変化しにくく持ちが良い
→開封すると徐々に品質が低下し栄養素は減少します
1 か月くらいで食べきることができる量を購入しましょう
- ・グラムあたりのカロリーが高い
→栄養分が粒にギュッとつまっています
- ・歯垢がほかのフードより付きにくい
→固さがあり、ある程度噛んで食べるので歯の健康維持にも繋がります



☆コストパフォーマンスが◎
☆成長期は歯と顎の育成に

ドライタイプとウェットタイプのごはんで比べてみると…

Ex) ドライ 35g → ウェットだと 100g (200g 入りの缶詰めだと半缶!)

<ウェットフード>

- ・水分含量は約 70~80 パーセント
→長持ちはしないので開封後は 2~3 日で食べきりましょう
- ・嗜好性が高い
→個体差はありますが、触感や香りが良いので喜び子は多いです



☆グラムあたりのカロリーは低め。量を↑したい時に
☆食欲がイマイチな日に
☆水分補給にも



<セミモイストフード・ソフトドライフード>

- ・水分含量は約 30~40 パーセント
- ・嗜好性はやや高い
- ・独特の触感や品質保持のための添加物が多く使用される
→柔らかさを維持するため、シヨ糖が多く含まれます



☆糖尿病、肥満の子には×

<手作りフード>

- ・使う食材がすべて把握できる
- ・栄養バランスが偏りやすい
→人間とは必要な栄養素が異なるのでバランスが難しいです



☆食物アレルギーの子に
☆特別なハレの日に
ちょっと贅沢

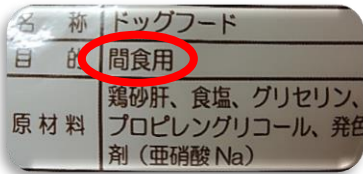
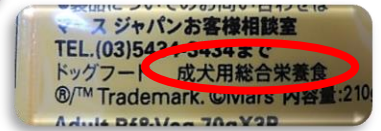


ペットフードの目的別名称



<総合栄養食>

犬や猫が必要とする栄養基準を満たしたフードでこのごはんとお水だけで健康を維持できます



<間食>

おやつです。

スナックなどと表示されたりもします。あげすぎ注意！
一日の摂取カロリーのうち10~20パーセントくらいにおさえましょう。

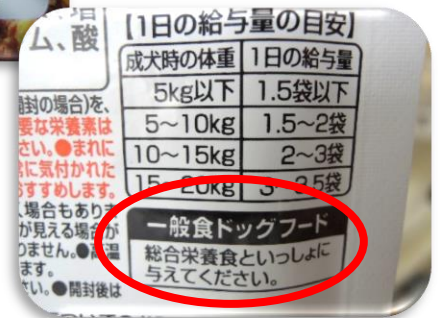


<その他の目的食>

一般食や栄養補完食、副食などと表示されます。

このごはんのみでは栄養を維持できないのでこれを補うフードも与える必要があります。

なお、このごはんの他に与えなければいけない食事の内容も明記されています。



<療法食>

病気別に栄養素が配合されたフードです。

そのためその子に合っていない療法食を食べると健康を害する恐れがあります。

獣医師の指示のもと選びましょう。



また…

ワンちゃんネコちゃんでは必要な栄養素が異なります。ワンちゃんには犬用、ネコちゃんには猫用を。ごはんに迷ったらスタッフにご相談ください。

